

岡山県の東備消防組合消防本部に高規格救急自動車を贈呈

～東備消防組合設立50周年式典にて贈呈式を開催～

日本損害保険協会岡山損保会（会長：中島 健・あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 岡山支店 支店長）は、2023年度に当協会から全国に贈呈する高規格救急自動車5台のうちの1台が岡山県の東備消防組合消防本部に配備されることが決定したため、11月18日（土）、東備消防組合設立50周年記念式典で、贈呈式を開催しました。

贈呈式では、東備消防組合 吉村 武司 管理者（岡山県備前市長）に目録を、東備消防組合 遠藤 大吾 消防長にレプリカキーをそれぞれ手渡し、高規格救急自動車を贈呈しました。また、中島会長から「贈呈した高規格救急自動車が、皆さまの安全で安心な生活を守ることが出来るよう祈念している」と述べました。次いで、吉村管理者から、謝辞が述べられた上で中島会長に感謝状が贈呈されました。

当支部では、引き続き、地域の防災力強化支援に取り組んでまいります。

* 贈呈実績

当協会では、1971年度から毎年、救急自動車を贈呈しています。救急救命士制度の発足に伴い、1991年度からはより高度な救急医療機器を装備した高規格救急自動車を贈呈しています。

2023年度までの高規格救急自動車の累計贈呈台数は301台、その他救急自動車の累計贈呈台数は1,389台となりました。



中島会長の挨拶の様子



遠藤消防長（左）、中島会長（中）、
吉村管理者（右）



贈呈した高規格救急自動車